



学校だより

教育は愛



◆ 能登半島地震で尊い命を失われた方々のご冥福を心よりお祈り致します。

また、被災されました方々に心よりお見舞いを申し上げます。

※冬休み中に、この度の大地震やその他の理由で心身にショックを受けているお子様がいらっしゃいましたら、担任までご連絡ください。本太小学校の教職員全員で寄り添い、支援させていただきます。

◆ 本年も宜しくお願い致します。

新しい年を迎え、子どもたちも希望に燃えて登校して来ました。子どもたちにとって実り多き1年とするため、今年も教職員一丸となり「愛と情熱」を持って教育活動に取り組んでまいります。変わらぬご理解・ご支援を宜しくお願い申し上げます。



◆ 辰 年

辰は、龍（竜）に結び付いており、十二支の中で唯一、想像上の動物です。龍で私が思い出すのは『易経』に登場する「六龍」の教訓です。その中には「潜龍」「見龍」「飛龍」「亢龍」の4つの龍の姿が書かれています。

『易経』では、各々の姿を通してリーダーのあるべき姿を説いています。その中から次の5つをご紹介します。

- 1 確乎不拔の志を打ち立てること
- 2 人としての基本的姿勢を身に付けること
- 3 努力向上と反省を習慣化すること
- 4 時を見極め、兆しを察することを試みること
- 5 人の意見を聞く耳を持つこと

これらの教訓は、リーダーに限りません。変化が加速するこれからの未来社会で子どもたちが生きていく上で、必要とする資質・能力と合致すると思いませんか！！



令和6年1月9日発行
さいたま市立本太小学校

Tel 048-882-3007

<http://motobuto-e.saitama-city.ed.jp>

e-mail motobuto-e@saitama-city.ed.jp

校長 千葉 裕(ちば ひろし)

◆ 3学期という「時」

4月を思い出し、自分の目標は何だったか？今一度胸に呼び起こし、手に出来た成果を確かめ、4月からの更なる目標を立てるために使う「時」が3学期です。これは、子どもたちだけでなく、私たち教職員も同様です。昨年末にご協力いただきました学校評価の結果を真摯に受け止め、今後の教育活動へ繋げてまいります。



◆ 「母の愛」親孝行の励行！

私は、孝を尽くせぬまま母を天国へ見送ってしまいました。だからこそ、「親孝行」の大切さを説いていきたいと考えています。

次のようなある母子の会話を読みました。

●反抗期の時、母親に「産んでくれなんて頼んでねーよ！」と叫んだことがある。そしたら母親が「当たり前じゃ！妊娠中もしんどいし、産むのも苦しい。産んでからも大変なのに誰かに頼まれたくらいでやるか！私が私の意志で、あんたに無事産まれて欲しかったんじゃ。この手に抱いて苦労して育てたんじゃ！だから私は死んでもあんたの母親だ！その役目は誰にも渡さん！だからあんたが道を踏み外しそうなら全力で口出しするわ！」みたいな事を言ってきた。その時は、ただ迫力に圧倒されて黙っただけだけど、今は噛みしめることができる。また、弱った時に自分を奮い立たせてくれる言葉になっている。

※母の愛は海より深し！親孝行を！

「未来社会に向けて、シン化し続ける本太小学校！」～すべては、未来に生きる子どもたちの幸せのために～